

山口琢磨訳『ペール・ラーゲルクヴィスト 三部作・マリアムネ』（鳥影社）書評会

プロジェクト人魚第81回研究会

Pär Lagerkvist
ペール・ラーゲルクヴィスト

—三部作・マリアムネ—



山口琢磨 訳

マリアムネ
アハスヴェルスの死
海上の巡礼
聖地

CHOEISHA

開催概要

スウェーデンのノーベル文学賞作家ペール・ラーゲルクヴィスト。寡作ながら、神なき時代のキリスト教をテーマとする同作家の作品は、キリスト教を文化背景としない日本の読者にもなじみやすく、尾崎義訳『バラバ』をはじめ知る人ぞ知る、根強いファンを持つ作家です。2025年、短編「刑吏」「こびと」（1971）の翻訳を手掛けた山口琢磨による、代表的な長編三部作「アハスヴェルスの死」（1960）、「海上の巡礼」（1962）、「聖地」（1964）、および、ヘロデ王とその妻を描いた「マリアムネ」（1967）の翻訳が刊行されました。編集・協力の中川美智子さんをゲストにお招きして書評会を開催します。

参加費・お申込み 入場無料・要申し込み。書籍を読了の上お越しください。

日時：2026年1月23日（金）18時～20時

対面：東京理科大学 オンライン：Zoom

18：00～18：25 ご挨拶・書評（中丸禎子）

18：25～18：50 クロストーク（中川美智子×中丸禎子）

18：50～19：00 休憩

19：00～19：40 感想・意見交換会（最大延長：～20：00）

ゲスト 中川美智子：『ペール・ラーゲルクヴィスト 三部作・マリアムネ』編集・協力。
声楽家。訳者・山口琢磨長女。

評者 中丸禎子：北欧文学・ドイツ文学研究者。東京理科大学准教授。

司会 田中琢三：フランス文学・比較文学研究者。お茶の水女子大学教授。

お申込み（2026年1月21日20時まで）：<https://forms.gle/TPCByoNVMqRZu6Ka7>

主催 プロジェクト人魚

本研究はJSPS科研費 22KK0194の助成を受けたものです。

